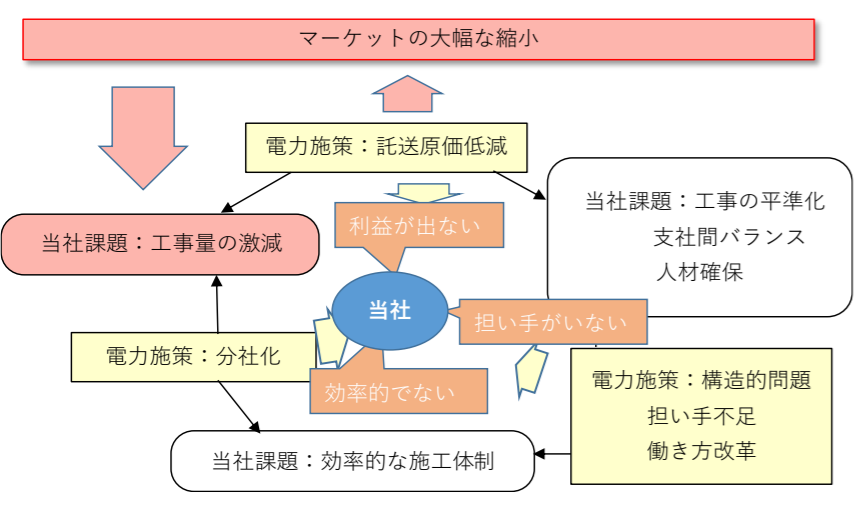


当社は、東北電力ネットワーク株式会社管内の配電設備を施工する会社として、「安全」「品質」を第一に、インフラ整備を担う企業という自負心を持ちながら、中期経営方針（2017年-2021年）に基づき順次社内整備を進めてきた。中期経営方針の最終年度となる2021年度は、依然として市場環境は不透明であるものの、昨年企業グループとした(株)東洋技研との事業シナジーも見据え、経営目標の東配工ブランドの確立を図るべく、重点方針はぶれずに優先順位と方向性を見極め、次の中期経営計画へと繋がるよう主要施策に取り組むこととする。

近年の環境変化



中期経営方針

経営方針

『経営基盤の強化をベースとした技術力向上による東配工ブランドの確立』

- 重点方針1 安全文化の醸成と企業倫理の確立**
- 安全・施工品質の向上
  - コンプライアンスの向上

- 重点方針2 環境変化に対応する組織・経営管理体制構築と業務運営の確立**
- 企業統治（内部統制システム）の確立
    - 経営統合によるシナジー効果の発揮
    - 本社機能の強化

- 重点方針3 収益拡大に向けた施策検討体制の確立**
- 競争環境の進展に伴う中期経営計画による具体的施策の展開
  - 効率化施策や売上高拡大に向けた具体的施策の展開
  - マーケット拡大に資する新技術、技能習得の検討
  - 人材確保と施工体制の確立

中期経営計画

- ◇経営課題
- 安全確保の徹底と施工品質の確保を重視し、いかなる経営環境下においても利益を創出できる経営体制の確立
  - 安全確保の徹底
  - 企業変革や技術・技能の継承に向けた人材マネジメントの構築ならびに人材の定着を目指した活力ある企業風土の形成
  - 企業統治・法令順守

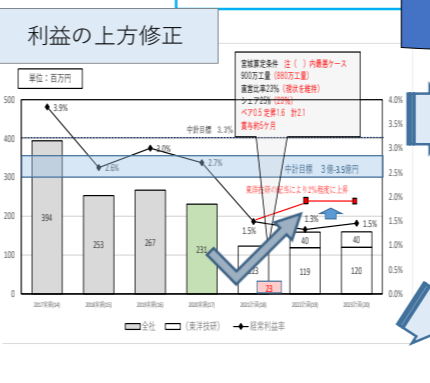
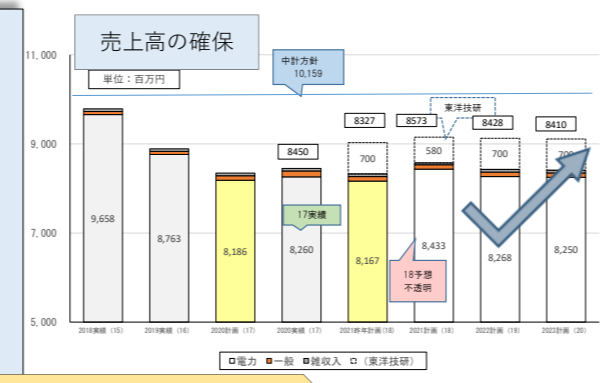
- ◇優先事項と方向性
- 託送原価低減施策（工事量）に対する効果的な工事施工体制の確立（原価低減）と労働環境の改善（働き方改革と担い手の育成）とのバランスのとれた投資計画
  - 電力工事とのシナジー効果をもたらすことのできる新機軸の検討
  - 施工品質、安全文化を尊重する企業風土定着
  - 各ステージにおいて求められる能力、資質等を明確にすることによる自律的な社員の育成採用後のアンマッチを防ぐことによる、社員の定着化。
  - 企業倫理、法令順守の確実な取組みおよび内部統制の確立

**主要施策**

定量目標 売上高 8,500百万円  
経常利益率 1.5%

◎収益拡大の推進

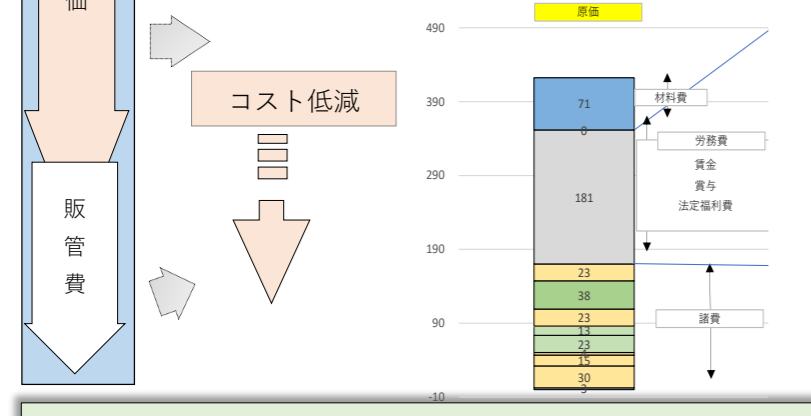
- 経営管理体制の構築 ・経営統合に資する情報の共有化
- コスト競争力の確保
  - 県内最適オペレーションと施工体制の検討
- 技術開発による優位受注
- 主業とのシナジーを見据えた一般分野開拓
  - 企業グループ内オペレーションと通信設備工事体制の検討



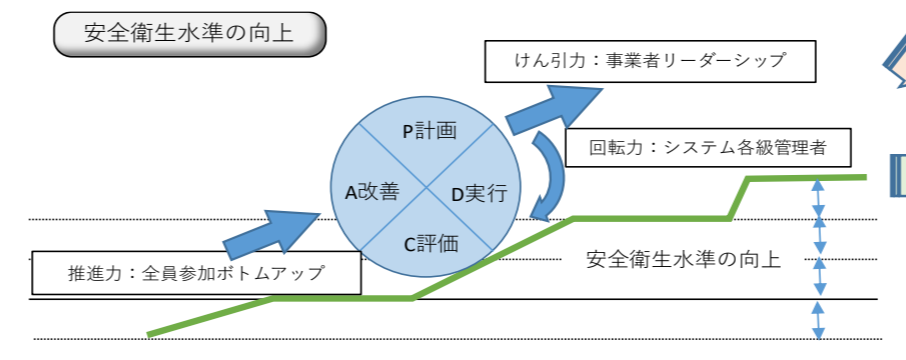
定量目標 目標値に対して5%削減

◎コスト低減の推進、生産性向上による財務体質の改善

- 原価管理の高度化
- 全社投資とオペレーションの最適化
- 直営力及び協力会社施工体制の強化
  - 直営施工力と生産性の向上、協力会社の経営安定化と施工管理体制強化支援
- 投資効果の高い設備投資計画 \*成長投資
  - 工事計画を見越した設備投資計画の検討
- 業務改善の活性化



- ◎労働安全の確保
- 規程・基準・マニュアルの統一
  - 東配工労働安全衛生マネジメントシステムの高度化
- ◎変革のできる人材育成および技術・技能の継承、人材定着策の推進
- 働き方改革
  - 若手社員早期戦力化および管理職のマネジメントスキル向上
  - 女性活用
- ◎企業倫理・法令遵守の徹底
- 内部統制システムの確立・内部監査スキーム・ハラスメントの撲滅など



- ◎施策推進のための人材確保・育成
- 労働環境の改善
  - プライドの醸成と自主性を高める環境整備
  - 改革を意識し、自ら提案できる人材の育成
- ◎技術力向上の推進
- 現場力（技術・施工力、安全力、マネジメント力）の強化
  - 顧客対応の高度化
- 定量目標 労働災害 0件  
施工ミス 0件